

都内市区町村に、直近10年以内で整備した小・中学校を対象に照会を行った。

（回答38自治体、うち対象校なし10自治体）

- 照会内容：（1）普通教室の面積、サイズ、天井高、根拠計画の有無、
 （2）共用部の面積、面積割合、根拠計画の有無
 （3）上位計画における標準仕様（整備面積の根拠）の有無

【回答例：府中第八小学校の場合】

* 複数の学校（小学校・中学校）がある場合は、シートを複製いただきご記入願います。

直近10年以内で整備した小・中学校の諸元概略、施設整備方針の有無をご教示ください。

施設整備方針名称：府中市学校施設改築・長寿命化改修計画

策定年月：令和2年2月

項目	諸元	数値	単位	計測	備考	
学校名		府中第八小学校				
竣工年度		令和5年3月				
総面積		10,678	平米			
(1)普通教室	①面積	68	平米	—	※40人学級を想定	
	②サイズ	正面：黒板側長さ	8.5	メートル	内寸	※ロッカーを教室外に配置
	③ 同	側方：窓側長さ	8	メートル	内寸	
	④天井高	普通教室	2.8	メートル	—	
	⑤基にした根拠	府中市学校施設改築・長寿命化改修計画				* P92-93
(2)共用部 <small>※総面積から、普通教室・特別教室・特別支援学級・特別支援教室・管理諸室（職員室等）を除いた面積</small>	⑥面積	3,561	平米	—		
	⑦面積の割合	33.3	パーセント	—		
	⑧基にした根拠	無し				
(3)上位計画	⑨整備仕様の標準化・数値化について	一部有り	—	—		

■ 小学校

・普通教室面積

上位計画に基づき普通教室の面積が設定されていた学校52校の平均は66.7㎡。

そのうち、府中市の想定標準面積68㎡（±4㎡程度）と近似する学校：27校/52校（約51.9%）

➡現計画における小学校普通教室の面積72㎡（40人学級の1人当たりの面積は1.8㎡）より、1人当たりの面積が0.14㎡広い68㎡（8m×8.5m）を今後の府中市立小学校の標準としたい。

・普通教室の天井高

上位計画で天井の高さを設定している自治体は確認できなかった。

2.7m前後で設計する学校が7割を超えていた。

➡第一期改築実施校の八小、第二期改築実施校の三小・六小の2.7mと同程度のため、教育環境の変化等を注視しながらも、今後も同等の設えとする方針。

・共用部面積（※廊下、階段、トイレ、電気機械設備スペース等）

共用部比率を設定していた自治体は、北区、清瀬市の25%のみと限定的であった。

➡三小・六小の実績を踏まえた、28%を面積比率の上限目安としつつ、具体的な数値は定めず、適切な学習環境の確保、事業費の抑制等の観点と、各学校の整備条件に配慮して検討する方針。

■小学校

		府中市	照会結果
普通教室	①面積 (㎡)	68㎡	$X < 64\text{㎡}$: 11校 $64\text{㎡} \leq X < 72\text{㎡}$: 27校 $72\text{㎡} \leq X$: 15校
	②黒板側サイズ (m)	8.0m	$X < 7.5\text{m}$: 6校 $7.5\text{m} \leq X < 8.5\text{m}$: 31校 $8.4\text{m} \leq X$: 15校
	③窓側サイズ (m)	8.5m	$X < 8.0\text{m}$: 11校 $8.0\text{m} \leq X < 9.0\text{m}$: 33校 $9.0\text{m} \leq X$: 8校
	④天井高 (m)	2.7m	$X < 2.5\text{m}$: 1校 $2.5\text{m} \leq X < 2.9\text{m}$: 40校 $2.9\text{m} \leq X$: 11校
	⑤基にした根拠 (④除く)	—	29校/52校は根拠あり

■ 中学校

・普通教室面積

上位計画に基づき普通教室の面積が設定されていた学校27校の平均は68.7㎡。

そのうち、府中市の想定標準面積80㎡（±4㎡程度）と近似する学校：2校/27校（約0.7%）

- ➡ 今後は、中学校の学級編成標準の引き下げ有無等、見直しに関わる動きを注視し、普通教室面積の縮減の可能性、それに伴う特別教室の面積を検討する。

・普通教室の天井高

上位計画で天井の高さを設定している自治体は確認できなかった。

2.8m前後で設計する学校が6割を超えていた。

- ➡ 第一期改築実施校の一中の2.8mと同程度のため、今後も同等の設えとする方針。

・共用部面積（※廊下、階段、トイレ、電気機械設備スペース等）

共用部比率を設定していた自治体は、北区の25%のみと限定であった。

- ➡ 三小・六小の実績を踏まえた、**28%を面積比率の上限目安としつつ、具体的な数値は定めず、適切な学習環境の確保、事業費の抑制等の観点と、各学校の整備条件に配慮して検討する方針。**

■ 中学校

		府中市	照会結果
普通教室	①面積 (m ²)	80m ²	$X < 70\text{m}^2$: 15校 $70\text{m}^2 \leq X < 80\text{m}^2$: 12校 $80\text{m}^2 \leq X$: 0校
	②黒板側サイズ (m)	8.0m	$X < 7.5\text{m}$: 4校 $7.5\text{m} \leq X < 8.5\text{m}$: 14校 $8.4\text{m} \leq X$: 9校
	③窓側サイズ (m)	10m	$X < 9.5\text{m}$: 24校 $9.5\text{m} \leq X < 10.5\text{m}$: 3校 $10.5\text{m} \leq X$: 0校
	④天井高 (m)	2.8m	$X < 2.6\text{m}$: 0校 $2.6\text{m} \leq X < 3.0\text{m}$: 18校 $3.0\text{m} \leq X$: 9校
	⑤基にした根拠 (④除く)	—	20校/27校は根拠あり